

透析センター便り Vol.3/2

# やまざくら



皆さんこんにちは♪ 最近では気温も暖かくなり、過ごしやすくなりましたね  
 今回のやまざくらは<検査データ>についてです。

皆さん採血した後の検査データは気になりますよね？ けれど、透析患者さんにいつも配っている検査データ用紙の基準値は腎機能が正常な人の基準値だということを知っていましたか？ つまり、透析患者さんは新たに覚えなければいけない基準値がある！ということなのです。

透析患者さん用の正しい基準値を覚えて、正しい知識を身につけましょう！

## <定期的に採血を採る意味>

快適な生活を送るためには、自分の体調をよく知り日常生活での自己管理をしっかりと行っていくことが何よりも大切です。そこで、自己管理がきちんとできているか？ 透析不足になっていないか？ 合併症が起こっていないか？を確認するためには定期的な血液検査値が大切な目安となります。

## <当透析センターでの採血日>

定期処方に合わせて、月初めの1回目採血は透析の前後採血(※前後で採るのは体内からきちんと毒素が抜けているか？ 栄養状態は大丈夫か？ などを見ている) 1回目から約2週間後の2回目採血は透析の前採血(日々の生活の状態を見ている)

# 検査データ一覧↓↓

項目	透析患者の基準値	主な原因
栄養状態は良好か	総蛋白	高；除水過多，脱水，感染症，膠原病
	血液中のタンパク	
	アルブミン (Alb)	低；除水不足，栄養不足，炎症
タンパクの一種	3.5~5.0g/dl	
透析が効率的に行われているか	尿素毒素 (BUN)	透析前 70~90mg/dl 高；タンパクの摂取増加，透析不足，ステロイドの使用
	タンパク質からつくられる老廃物	透析後 20mg/dl以下 低；タンパクの摂取不足，肝不全
	クレアチニン (Cr)	男性 12~14mg/dl 高；筋肉量増大，血液濃縮，透析不足
筋肉からつくられる老廃物	女性 10~12mg/dl 低；筋肉量減少，血液希釈	



もちろん、検査データには個人差があります。同じ物を食べても、データの変動の仕方は人それぞれです。

項目	透析患者の基準値	主な原因		
貧血が起こっていないか	ヘモグロビン(Hb) 赤血球の色素・酸素を運ぶ	一般 10.0~11.0g/dl 若年 11.0~12.0g/dl	高; 脱水, 造血剤の投与過多, 多血症	
	ヘマトクリット(Hct) 血液中の赤血球が占める割合	男性 30.0~33.0% 女性 33.0~36.0%	低; 造血剤低反応, 慢性炎症, 鉄不足 消化管出血	
	鉄 赤血球をつくるための材料	男性 82~136µg/dl 女性 73~117µg/dl	高; 鉄の過剰投与, 炎症, 感染	
	フェリチン 体内に蓄えられた鉄	100~300ng/ml	低; 鉄の補充不足	
	心臓が正常に動くか	カリウム(K) 筋肉の動きに関係する	3.6~5.0mEq/l	高; 摂取過多, 透析不足 低; 摂取不足, 嘔吐, 下痢, インスリン投与
		リン(P) 骨を強くする, エネルギーを運ぶ	4.0~6.0mg/dl	高; 摂取過多 低; 摂取不足, リンを下げる薬の過剰な内服
		カルシウム(Ca) 骨の主成分となる	8.4~10.0mg/dl (アルブミンが低い場合は補正)	高; 副甲状腺機能亢進症, カルシウム含有の薬の内服 低; カルシウム吸収を助ける薬の不足
骨の代謝異常が起こっていないか	PTH 副甲状腺から分泌されるホルモン	60~240Pg/ml	高; カルシウムの減少, リンの増加 低; 副甲状腺の切除後	
	体の防御反応が働くか	白血球 免疫に関係する	3000~8000/µl	高; 感染症, 透析物品へのアレルギー反応 低; 尿毒症, 薬剤などの影響 骨髄異形成症候群
血小板 血液の凝固に関係する		15~20万/µl	高; 造血剤使用による併発症 低; 透析物品への反応, 血液疾患による産生低下, 破壊亢進	

**注意** リンやカリウムのように、食事での摂取量で改善しやすい項目ばかりではありません。  
例「カルシウムが低い...乳製品をとろう!」→乳製品にはリンも多く含まれているのでリンが急上昇! 摂取量が足りないのか? 摂取したカルシウムを吸収する力が足りないのか? 原因は様々です。気になる項目があったらスタッフと話をしてみましょう!

**Pick up Food** 野菜をゆでてでもカリウム含有量が減らない食材

- とうもろこし
- かぼちゃ
- 長いも
- グリーンピース
- たけのこ
- グリーンアスパラ